

# 長野構成員提出資料

# 愛媛県愛南町における認知症地域ケアの中での 「精神科医療」の実践 より

なんぐん

## 愛媛県 南宇和郡 愛南町

松山から自家用車で約3時間、JR宇和島駅まで45Km

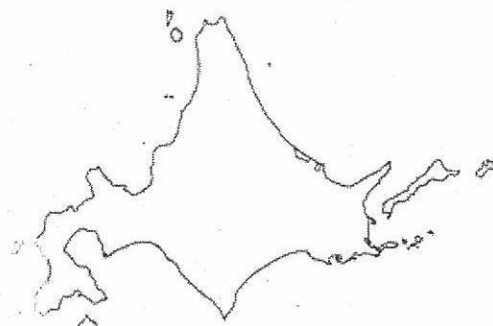
人口 25,433人(平成22年9月) ← 31,080人(平成9年)

12年間で約5,500人の減、産業低迷が深刻

高齢化率 31.37%(平成21年3月 後期高齢者17.0%)

出生数 平成21年度 約100人

要介護認定者 1,570人(平成22年3月)



四国 愛媛県

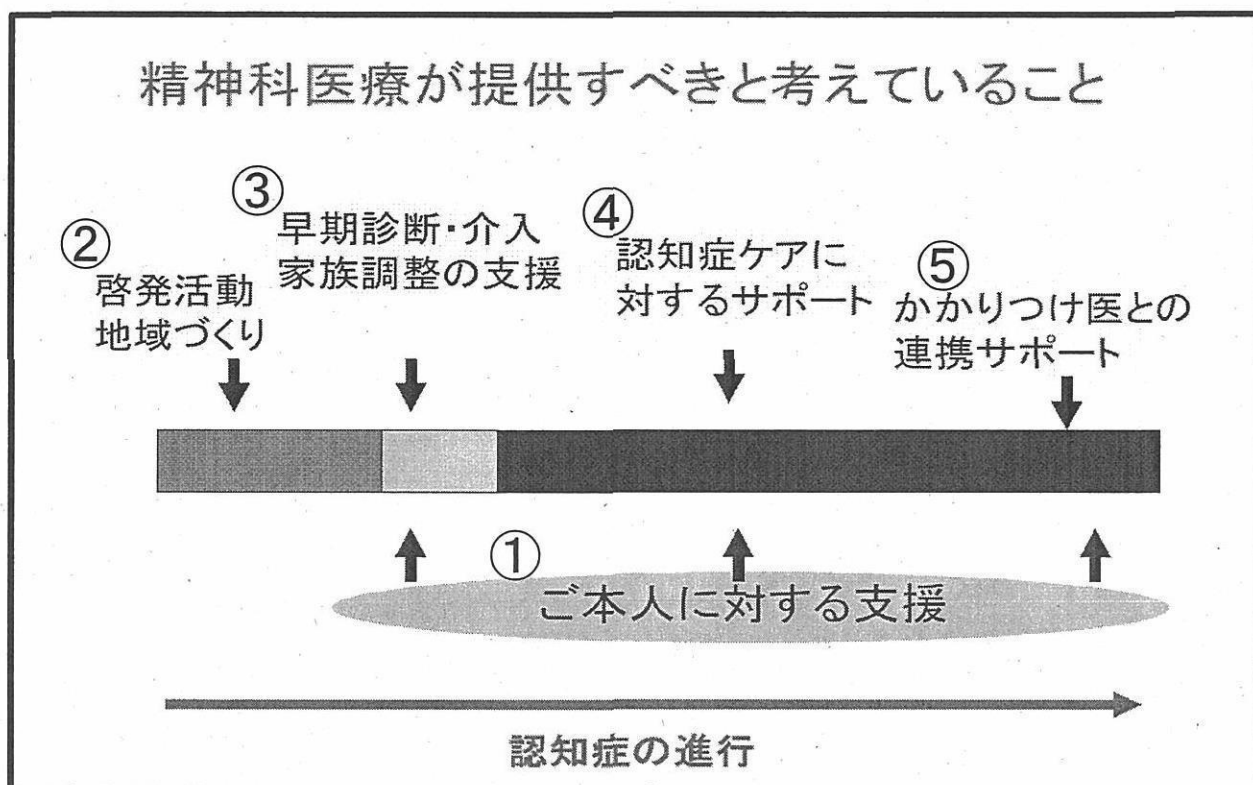


### 交通過疎

- ～医療圏と生活圏がほぼ一致
- ・一地域、一精神科病院
- ～地域に責任
- ・合併前からの活動エリアが一致
- ～五か町村 → 愛南町(H16年)

# 愛南町における認知症地域ケアの中での 「精神科医療の役割」

## 愛南町 啓発活動の中で、地域住民にお伝えしている 「精神科医療」の役割



## ① ご本人に対する支援

- 発症～進行～末期 精神療法的支援、精神科訪問看護
  - 常に「本人の感情、意向」を中心に。
  - 家族の支援も極めて重要。

## ② 啓発活動・地域づくり(住民ネットワーク)

- なんぐん地域ケア研究会
  - H8年～、南宇和医師会主催、定例会・大会100回越え、精神科医療スタッフも地域住民として参画する住民ネットワーク
- 集会所単位での啓発活動
  - H11年～、計120か所以上、愛南町事業として、継続中
  - 精神科医師が直接「地域住民」へ～「認知症の偏見を解き、精神科医療の敷居を下げる」「相談窓口の明示」「地域住民の声を直接聴ける機会」...等。
- 他福祉関係、認知症の人と家族の会、行政、事業所等との重層的なネットワークづくり、多職種による参画
- 高齢者も障がいを持って、いきいきと、安心して、共に生きられる街づくり

## ③ 早期診断、介入、家族調整の支援

- 早期診断
  - 早期からの環境調整と継続支援
    - BPSDをできるだけ起こさない支援体制へ
  - 早期から相談しやすい体制づくり
  - 愛媛大学 専門医との連携 ～ 鑑別診断
- 介入
  - ソフトに、慎重に。公的機関との連携により
- 家族調整の支援
  - 特に早期は「理解されにくい」病状～家族間の無用ないさかい～医学の視点から認知症説明～家族調整の支援